法学部　武藤浩史教授　最終講義

モダニズム文学のスピリチュアリティーズ

＜教養研究センター主催＞

武藤浩史教授　最終講義

武藤浩史教授は、D・H・ロレンスを中心とする20世紀以降のイギリス文学を専門とされています。研究と授業では、文学にとどまらずビートルズの考察など幅広い視野から、現代社会においてさまざまに現れるイギリス文化史の「宗教性」―人生の意味の探求―の形を論究されています。

また教養研究センターでは、「身体知」の授業に長く携わり、学生の芸術教育に多大なるご尽力をなさいました。

この度、ご退職に際して、武藤先生のご貢献に感謝し、教養研究センターにて最終講義を実施いたします。

教養研究センター　副所長　高橋宣也

発起人：高橋宣也、小菅隼人、横山千晶、片山杜秀

日時：2022 年 2 月 3 日（木）14:45 ～ 16:15

①対面参加（40 名まで）

日吉キャンパス来往舎 1 階シンポジウムスペース

対象：塾生・慶應義塾　教職員

＜申込み＞要 keio.jp 認証

https://bit.ly/3GmSwjx

②オンライン参加（ZOOM）対象：どなたでも

＜申込み＞　https://bit.ly/3Fi6PVq

※対面でもオンラインでも事前申込をお願いします。

主催・お問合せ：慶應義塾大学教養研究センター

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

法学部　武藤浩史　教授

慶應義塾大学大学院でイギリス文学を専攻、英国ウォリック大学で博士号を取得。専門はD・H・ロレンスを中心とする20世紀以降のイギリス文学。

著書：『「ドラキュラ」からブンガク』『「チャタレー夫人の恋人」と身体知』『ビートルズは音楽を超える』など。